

# 工業製品の感性品質を高める色彩に関する調査<1> -アジア5ヶ国の比較-

100430097 西谷彩香  
川澄研究室

## 1. はじめに

近年、アジア諸国の製造業の競争力が高まる中、日本の製造業は製品の感性品質を高める研究にも注力している。

先行研究では、CG 画像を使用して製品表面の色彩を5段階に変化させた場合の感性品質への影響について調査した結果、タイでは緑系の色で「落ち着き感」が高くなるなど、国によって特徴があることがわかった[1]。そこで今回はより詳細な分析のために色数や設問を増やし、様々な被験者属性から比較を行えるようにした。なお、本研究は国内素材メーカーおよび名古屋工業大学大学院との共同研究である。

## 2. 目的

表面がシルバーメタリック色の製品(図1)にわずかに色彩を加えたCG画像(図2)を用意し、製品に対する感性品質(清潔感、落ち着き感など)が高まる色相を調べる。また、製品や被験者国籍に応じて結果がどのように特徴づけられるかを比較・考察する。本報では特に日本、韓国、中国、タイ、インドの5ヶ国に注目して比較する。

## 3. 調査方法

図1の7つの製品(左から冷蔵庫、テレビ、DVDプレーヤー、ノートパソコン、デジタルカメラ、スマートフォン、音楽プレーヤー)それぞれに対し、色相を10段階(マンセル色相上で等間隔にP, PR, R, RY, Y, YG, G, GB, B, BP)に変化させた(図2)。調査対象の感性品質は先行研究の調査結果に基づき「清潔感」「落ち着き感」「上質感」「スタイリッシュ感」「好感度」とし、製品ごとに最も当てはまる色相を1つ選択する。なお、調査にはWebアンケートを使用した(続報<3>参照)。Rajamangala University of Technology Thanyaburi(タイ)や延世大学校(韓国)などの協力を得て、日本人297名、韓国人32名、中国人39名、タイ人54名、インド人39名など、12ヶ国479名の方々に回答していただいた。



図1 シルバーメタリック色の7製品



図2 10段階の色相(ノートパソコンの例)

## 4. 調査結果

図3に「清潔感」に対する国別の結果の一例を示す。どの国も青系の色(GB, B, BP)が選択される傾向が強く、先行研究の結果とも一致した。その中でも、日本や韓国ではGBが、インドではBPが特に支持されている。図4は「落ち着き感」に対する国別の結果の一例である。先行研究の結果と同様にタイでは緑系(YG, G, GB)が選択される傾向がみられ、GBが若干多いものの、YG, G含めて幅広く得票していることが新たにわかった。また、韓国では黄系(RY, Y, YG)が高い傾向が得られた。

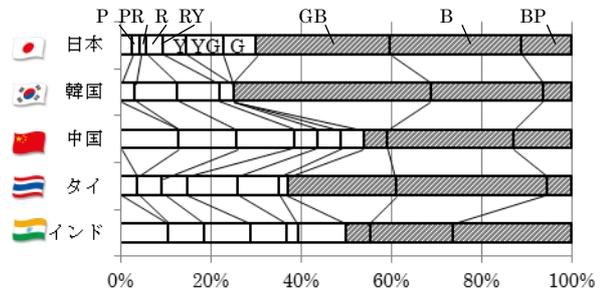


図3 「清潔感」の国別比較(DVDプレーヤーの例)

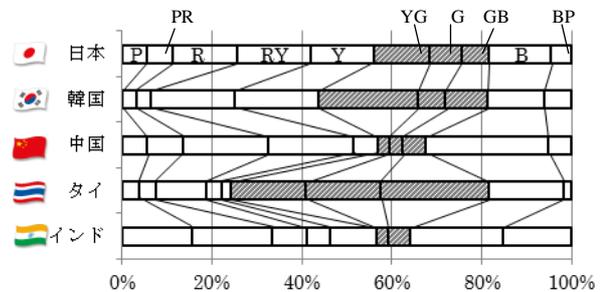


図4 「落ち着き感」の国別比較(冷蔵庫の例)

## 5. まとめ

7製品、10色相に対して5つの感性品質で調査を行ったところ、国や製品によって共通の結果、異なる結果がさらに詳しくわかってきた。

今後は各国の色に対する文化的・歴史的背景とも関連付けながら、引き続き製品嗜好の国際比較を行う予定である。

## 参考文献

- [1] Mikiko Kawasumi : A Comparative Study in Asian Countries on Color Preference for Factory products, The 1<sup>st</sup> Asia Color Association Conference ACA2013Thanyaburi, pp.26-27 (2013)